

陳情第6003号 令和6年9月9日受理
陳情第6004号 令和6年9月9日受理
陳情第6005号 令和6年9月9日受理
陳情第6006号 令和6年9月9日受理
陳情第6007号 令和6年9月9日受理
陳情第6008号 令和6年9月9日受理
陳情第6009号 令和6年9月10日受理
陳情第6010号 令和6年9月10日受理
陳情第6011号 令和6年9月10日受理
陳情第6012号 令和6年9月10日受理
陳情第6013号 令和6年9月10日受理

陳情第6014号 令和6年9月10日受理
陳情第6015号 令和6年9月10日受理
陳情第6016号 令和6年9月10日受理
陳情第6017号 令和6年9月10日受理
陳情第6018号 令和6年9月10日受理
陳情第6019号 令和6年9月10日受理
陳情第6020号 令和6年9月10日受理
陳情第6021号 令和6年9月10日受理
陳情第6022号 令和6年9月10日受理
陳情第6023号 令和6年9月10日受理
陳情第6024号 令和6年9月10日受理

(件名) 県警の不祥事問題に関する陳情書(1項)

(参考) 2項は総務警察委員会に付託(陳情第1014号～1035号)

(陳情の趣旨)

鹿児島県警において、県民を犯罪から守るべき警察官による性犯罪、被害相談への不作為や隠蔽、証拠隠滅が疑われる事案が次々に発生しています。

これらについて、迅速に捜査すべき警察が、捜査の一時中断や防犯カメラの消去など、身内の犯罪を擁護する立場をとっており真相は闇に包まれたままです。

こうした事実は内部告発によって公けになりましたが、県警は、内部告発した前生活安全部長を国家公務員法違反で逮捕しました。告発者に対する強権的な手法は、当事者や法律家のみならず国内外で大きな批判をよびおこしています。

さらに、地方公務員法違反で逮捕された元巡査長の内部告発によって、捜査書類の廃棄を促す内部文書「刑事企画課だより」の存在も明らかになりました。警察にとって、都合の悪いものは廃棄するという隠蔽体質を示すものと言えます。このままでは、鹿児島県民は鹿児島県警を信用できず、市民が警察の行動に不信感をもって対応しなければならない日常を強いられることとなります。

信頼される鹿児島県警になるように膿を出し切り、憲法、法律順守の組織に生まれ変わることを願うものです。

記

一、県民の代表である県議会は、百条委員会を設置して真相を究明してください。

(県民の代表である県議会は、百条委員会を設置して疑惑を解明してください。)

二、鹿児島県警に対して性暴力を許さない、憲法に基づく人権意識の醸成、法治国家の核となる組織への抜本的改革を求めてください。

(鹿児島県警に対して、女性を含めて様々なマイノリティに対する差別や暴力を許さない抜本的な意識の改革と制度の改革を求めて下さい。)